明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）月曜及大祭日の翌日休刊 明治四十三年五月廿六日（木曜日） 第四百十三號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 五號活字十七字詰一行一圓▲金十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

社說

滿韓の陸路貿易

目下露清間に交渉中なる露清陸路貿易規定改正は單り英佛の南清國境貿易に影響するのみならず我滿韓陸路貿易に關係する所多きを以て該問題に就ては勿論注意を怠るべからず元來日清協定書の末項に滿韓國境貿易は清國の陸路貿易章程に均霑する旨規定しあり而して其均霑範圍は單に關税率のみに留まらず露清國境間に行はるゝが如き五十清里地帯に於ける關税免除の利益にも均霑し得る者なれば鴨綠江及び圖滿江の滿韓貿易は非常の發動を生ずるを要なるべし但し我當局者は此利益均霑が韓國經由滿洲輸入の日本品、滿洲輸入の韓國品、滿洲に於ける日本産業等に果して如何なる影響を及ぼすやの點に付き目下調査中なれば滿韓陸路貿易は果して露清陸路貿易章程に均霑するか又安南陸路貿易章程に均霑するかは不明なり

北韓視察談（下）

竹本軍司令部副官談

▲雄基 雄基には日本人の施設經營せる何物も無し、然るに支那人は續々同地に入り込み土地を買收し、家屋を建設し、店舖を設くるなど將來に向て希望を繫くるものゝ如しといふ、想ふに淸津は前述の如く土地狹隘にして淸人の移住すべき餘地なきのみならず幾多有利なる事業も到底淸人の手に占められ得べきにあらざるを以て彼等は雄基の地が慶興、穩明、訓戎鎭等を控へ陸路牛車の便あり、殊に新阿山を經て鹿島方面に輸出さる貨物少なからず、而かも假し吉會鐵道竣成すとも、雄基は尙右の各地に對して貨物の集散地たるの資格を失ふものにあらずとして、淸人が例の遠謀を廻らせるにあらざる乎如聞者は現在こそ微々たるも相應繁賀の實行きもありと云へば、彼の良港の頭に蟠居せる淸商が將來は見物ならん

▲元山 は瞥見する處殷沈衰の狀あり京元鐵道竣成の上ならでは景氣恢復或は見來なからんか

▲咸興 に就ては咸興平野の米作と沿海の漁業に對して日本人の指を染めたる跡なきを遺憾とす、咸興平野の米作は、咸興に模範農場ありて同地を中心として半徑一里位の地方は稍新式の耕作に改良を加へたるが如きも他は韓式の耕作法に依る隨て產額少なく同地方の供給を充す能はず、之れを日本人の經營に移さば產額の增大著しきものあらん漁業も亦日本人の來て經營するあらばと口惜しき程に思はる、彼の鱈の如きは、我北海道に於ては海岸より一里以上を距らずしては漁獲し得ずと聞きしが、北韓の咸鏡岸にては海岸より六十メートルにして漁獲し得べしと云へり

●韓銀貨幣發行週報（自五月十五日至五月二十一日）

銀行券總發行平均高	一三、〇四九、一九九
內正貨準備發行高	五、一三三、六四三
保證準備發行高	七、九一五、五五一
銀行券中均手許在高	九二〇、六八九
平均流通高	一二、一二八、五一〇
硬貨（五月二十一日現在）發行額	六、三七八、〇九三
內金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
同 五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九三一、〇〇〇
同 二十錢	一、四八七、五〇〇
同 十錢	一、〇一九、〇〇〇
白銅貨五錢	六四一、二五〇
青銅貨一錢	二六八、九四〇
同 五厘	八〇、四〇〇

●滿韓と博多間航路

滿韓に博多商業會議所は大阪商船會社に對し博多港を起點とする滿韓航路の新設あらんことを要望したるが商船は一旦拒絶の意を致したるも滿韓に對する博多港の優越なる地位は固と同社の認むる處にて此際多少の不利を忍んで同航路の經營に當らんか他日相應の繁榮を見ること決して期し難き望に非るより同社は內々大に乘氣になれるもの如く再三其希望を洩らし結局同社の望む處は若干の補助金を得るにありて補助金の交渉にして纏らば一千噸內外の汽船を以て每月四回位滿韓航路を開くの意思あること明かとなりたるより同商業會議所は去る十九日役員會を開き此問題を協議せしが目下福岡市は對馬運輸會社に補助金五千餘圓を下附して博多釜山間の航路を營ましめ居りて然も對馬運輸會社との補助契約は來る四十五年に至らざれば滿期とならざるのみならず同補助に關してすら異論ある位なれば商船會社の希望を容るゝことは決して容易ならざれば更に各方面の調

地方通信

▲平壤通信

▲韓銀砂金益增加 當韓國銀行支店に於ける砂金取扱高は最近大に增加し先月中の如きは三十貫近くの多額に上りたるが本月は更に以上の多額に上る豫定にて昨今の狀況は少なきも一日二貫より多き日は五貫目に上る由にて本月一日より昨日に至る迄の比例を以て見るときは本月中の總買上高は五十貫目に上るべしと云ふ右增加の原因に就ては既記の如く湖州其他に於て露頭金鑛の發見せられたるによるものなるも一は之迄同地方面は鴨綠江上流沿岸に位し兎角不穩なりし爲め之が採掘に着手する者は比較的少かりしも近頃同地は營林廠に於ける木材取締りとして吏員出張し且つ憲兵派遣所等の多く新設せられたれば一般平穩に歸したる爲競て採掘に從事する者を生じたるにも因ると云ふ

▲韓銀營業近況 韓銀支店營業近況を聞くに一般營業狀況は前月に於けるものに比し大差なく閑散なる方なるも貸附額は多少增加し又此三四日間は一般輸入品の賣行は良好なる方なり今後の狀況に就ては近く韓人側端午節句を控へ居れば同期に近づくに及び多少貸附金額の增加を見ることとなるべしと云ふ

▲當地手形組合所 當地手形組合所に於ける最近の營業狀況を聞くに本月十一日より二十日迄に至る保證高は三萬八千八百十五圓同支拂高は三萬四千圓前旬末現在保證額は十九萬四千五百九十二圓二十一錢同本旬末現在保證額は十九萬五千二百七十四圓二十一錢本月末保證現在額は前旬末に於けるものに比し四千八百十五圓の增加なりと

◎新刊紹介

▲日本經濟新誌（第七卷第四號五月十八日發）京麴町區飯田町日本經濟新誌社發行定價十三錢）

▲經濟（第三號五月十七日大坂西區京町堀日本經濟發行定價郵稅共一冊十一錢）

▲法律世界 第六十二號五月二十日大坂北區中之島二丁目法律世界社發行一部定價郵稅共五錢）

日本銘刀傳

第百廿一席 津田近江之守（廿五） 邑井一 講演

九「ハヽア左樣でござるか、當時大阪に於て名代の津田越前守助廣の養子近江守助直が當地へ參り居りまする故夫れは結構でござる、コレ〳〵岡島氏」彌「ハッ、御家老何御用でござる」九「唯今承はれば當時有名な近江守助直が御貴殿の屋敷に來て居らるゝさうだな」彌「さればでござる其の助直は手前に少々由緣のありまするもので先月より手前の許にまいつて居ります」殿「ウム、岡島は好い縁者を持たれた、苦しうない、此の言葉もある事故、早速連れ參れ」彌「承知致してござる」やがて岡島彌右衛門は退きまして改めて津田近江守助直を同道して參りました、一同待兼ねたることでありまして、助直は遙かの末座に兩手を突いて控へまする、殿は遙かに御覽になつて「オ、助直か、近う〳〵」近う〳〵と二度御聲が掛つたので徐々と助直は前へ進みます 殿「何うぢやな、我が注文致せし刀は出來たであらうな、出來たなら早く見せて呉れ」助「御意にございます、未熟の腕前にて御氣には入りますまいとは存じまするが、御覽の程を願ひ上げ奉ります、やがて助直は箱の蓋を取り取出したる一刀、鞘を拂つて內匠頭御覽になり 殿「ウム、是れは能く出來た、何うも手頃で好いの、至極結構ぢや、ホー亂れ打ちやの、承れば助直は此の赤穗の者ぢやさうだ、我が領分より近頃斯かる名鍛冶が出づると云ふのは喜ばしいではないか、のう、大野……」九「左樣にござります、私にも拜見を願ひたう存じます」殿「ム、見るが宜い」九郎兵衛進み出で「流石は當時名人と稱はるゝだけあつて立派なものでござるな、アヽ助直とやら拙者は國家老大野九郎兵衛と申す者早く其方の當地に居るのを知つて居るなら一振注文致せしものを惜しい事を致した、まだ當地に滯在致し居るなら我れにも一振鍛つて貰らいたいものだ」助「然し御家老は大分名刀を御所持の由なれば手前共の如き未熟の者の鍛ちました物などはお氣に入りますまい」九「さう言つて呉れるなアヽさう〳〵幸ひの所だ、拙者は初代の大坂眞守を所持して居る一つ鑑定して貰ひたい、實は五六年前矢張此の月見の宴に岡島に鑑定して貰つたけれど岡島は僞物だと申して拙者大に立腹した事がある、然し其後諸方で鑑定して貰ふたが贋物でないと分つたから求めて置いたなれど、其方にも一つ鑑定して貰はう」と早速使番に言付けて其刀を取寄せ 九「さアー一つ鑑定して呉れ」と助直に渡しました、助直は手に取上げて「是れは何うも拵へは立派でございますが、兎角御身分の好い方や金許り溜込む人は、却つて贋物を押付けられるものでな」そろ〳〵可厭な事を言ひ始める、助直の心中では已れ此の狸爺、天道は善人に與みし惡人に與みせざる事を知らんか、今日こそ五年以來我慢に我慢して來た恨みを晴らすの時節到來したのである、我れ主人に代り仇を復つて呉れるから左樣思へと、大坂眞守の一刀スラリと引拔き暫らく眺めて居たが思はず「イヤハヤ」と言ふと大野九郎兵衛血相變へて憤り「コレ助直、唯今何と申した、イヤハヤとは何だ、又た何とか申したな、兎角金を溜込むのは贋物を押付けらるゝと申したな、拙者は其方に其大坂眞守位の長さに一本打つて貰らひたいと思つて居たのに飛んだ事を申すな」助「イヤ御免を蒙りませう、刀と云ふものは御承知の如く武士の表道具、何時までも是れが殘るものでございます、手前は斯樣な鈍な打方は致しません、ハイ、斯樣な鈍い打方は致しません」

東京電報

▲**地久節の御祝儀** 來る二十八日は我國母陛下第六十一回御誕辰日に相當するを以て 皇后陛下には同日午前十時二十分東宮同妃兩殿下皇族殿下を初め奉り香川皇后宮太夫、板倉、柳原兩典侍以下各供奉員を随へさせられ宮中桐の間に入らせられ同時に文武百官の拜賀を受けさせられ終りて十一時三十分より御內儀人形の間に於て皇太子同妃兩殿下各皇族の方々と御內宴を催させられ同時に宮中鳳凰の間に於て大勳位、大臣、親任官、宮內勅奏任官百餘名に酒饌を賜はる由(廿五日)

▲**朝香宮の御披露** 朝香宮鳩彥王同妃允子內親王殿下御成婚の御披露宴は英帝崩御の爲め中止せられたるが愈々來る六月一日及翌二日の二回に分ち霞ケ關離宮に於て內外文武官宮內官を召され盛大なる御披露宴を開かせられ午後二時よりは園遊會を催さるゝ由(同上)

▲**バロダ王の謁見** 印度バロダ王殿下には今般來京に就き英國大使マグドナルド氏同伴本日午前十時三十分參內鳳凰の間に於て 天皇陛下に拜謁終りて殿下には王妃王女兩殿下と共に桐の間に於て 皇后陛下に御對顏あらせられたり(同上)

▲**相撲と曾禰統監** 東京大相撲は滿韓巡業に關し曾禰統監と交涉中なりしが其條件漸く成立したり(同上)

▲**海軍擴張の研究** 列國との均衡上海軍擴張の必要あるは朝野共に認むる處なり之が爲めに政府及政黨は熱心研究を開始せり(同上)

▲**旅順開放の程度** 旅順口の開放は鎭守府存在する事とて全然商港と爲すを得ざるも万事の設備は商船の爲め便宜を計り漸次商港と爲す方針なり(同上)

▲**山陰新線敷設計畫** 鐵道院にては今回山陰道の今市より江津を經て山口縣小郡に至る百卅九哩餘の陰陽連絡線建設の計畫を立て目下理事會の問題に上しつゝあり多分廿七議會の協贊を求め敷設せらるべし

▲**陰陽輕便鐵道敷設** 廣島、三次、今市間の輕便鐵道敷設計畫あり近々鐵道院に出願せらるべし(同上)

▲**耕地整理と補助金** 耕地整理土地改良事業に對する本年度の國庫補助金交附額山口縣外三縣にて五万三千七百四十一圓なり(同上)

▲**桂首相の病氣快復** 桂總理大臣は過般來風邪の氣味にて三田の私邸に引籠り靜養中なりしが此の程全快せり(同上)

▲**十聯隊の惡疫流行** 歩兵第十聯隊に腸チブス患者發生し昨二十四日は百十名に達し尙ほ續發蔓延の虞あり(同上)

雜報

墺國皇族の謁見

墺國皇族騎兵大尉オルレアン殿下は豫報の如く二十四日來着二十五日石塚總務長官を統監府に訪問せり尙ほ石塚總務長官は二十六日午前十一時三十分統監代理として石井武官を隨へオルレアン殿下を御同道申上げ昌德宮に參內仁政殿に於て韓皇に御對顏ある由當日韓皇には軍裝にて殿下は燕尾服御着用遊ばさるゝ由

●**澤田局長訓示要旨** 澤田地方局長は新任郡主事に對し二十四日一場の訓示演說を試みたるが其要旨は「古の韓國地方制度は郡守是れ地方長官たりしが觀風察俗の巡視官たる觀察使が何時しか管轄の區域に蹯居して遂に地方長官たるに至れり而して郡守は行政權を始め司法警察徵稅等一切の權限を有し權力絕大なりし結果は種々の弊害を伴ひたるが保護關係成立後各特立の機關を設け宿弊の艾除に努めたり昨年始めて地方費法を施行し地方公共事業の經營を爲すに至りしが郡に在ては未だ此事なし隨て其事務は之を地郡衙に比すれば分量極めて少し然れども產業獎勵等助長行政に就ては固より餘地多し現に地方駐在の警察官中には韓人未知の農法を敎へ意外に衆望を博せるものあり是れ大に諸君の注意を要する方面なりとす各郡には面若くは坊ありて吾が町村に相當するものあり各面長を有するが事務頗る多煩なる爲め統一の必要を認め目下其制度改良に就き考究中なり唯だ獨逸流の自治制を施行すべきや否に就ては何等考案なきも巧みに之を利用すれば効果尠からざるべし元來韓國に於ける行政機關は極めて複雜なれば日韓兩官廳との系統に關し彼是交錯過誤なきを要す尙ほ韓國は各地種々狀況を異にするを以て諸君は精細に地方の狀勢を査察し必要事項は屢々報告せられん事を望む云々

●**温陽温泉の李總理** 紛々たる政爭の渦中より遁れて温陽温泉に靜養せる李總理の近況を聞くに隨員は鈴木醫官上村秘書官白井主事看護婦一名にて韓人從者は息李恒九を始め七八名あり是等の人々を對手として李總理は烏鷺の爭ひに鬪を散じ若くは詩歌を作爲して吟懷を發ひ時には揮毫等を試むる事あり忠南警察部長は特に警護に意を用ひて十數名の警官を派し晝夜共嚴重に警戒しれる由なるが李總理の堅忍なる表面上述の如く極めて平靜を裝ひ居れど自己の配下より集まる各方面の報告を綜合し時局に關する注意を怠らざる由なり

●**天道敎の新聞發刊** 侍天敎員等は其筋の認可を得ずして新聞を發刊し罰金に處せられたる事あり今回通度寺より歸來せし孫秉熙等一派の天道敎員は今回機關新聞を發刊して敎義を擴張し廣く全國に敎員を募らんとて侍天敎の二の舞をなさゝらんが爲め其筋へ認許を願出でたるが其趣意は學術技藝の研究にある旨を附記せり元來天道敎若くは侍天敎は宗敎の形式を備へたる政治的結社にして其行動は常に政治的行動に限られたりといふも經營に非ず依て其筋にては學術技藝研究の名に於ては之を許可する能はずとて廿五日出願者へ却下したりと

●**軍司令官の晩餐會** 大久保軍司令官は二十五日午後七時より駐日獨逸大使ムンム男一行及駐在同國總領事を主賓とし松永師團長、榊原憲兵隊長、石井武官、小倉主計監、永澤軍醫部長、岡本參謀、竹本高級副官、岩井、林の兩少佐、十時副官(以上駐劄軍)石塚長官、國分參與官、本多通譯官、池邊書記官(以上統監府)を陪賓とし大觀亭に於て晩餐會を開く筈にて余興としては藝妓の手踊、軍樂隊の吹奏等あるべしと

●**韓國對浦港貿易額** 明治四十二年中韓國對浦鹽港の貿易額を見るに輸出七八五、三三三輸入七四九六〇圓にして之を港別にすれば

淸津	三、二六九	五九、四七二
城津	一〇九、〇三九	四、七五二
元山	二四〇、四九七	六、九二七
釜山	四三二、二二七	三、二二八
仁川	三〇〇	五八一

にして輸出品の重なるは米及生牛也と

●**私立學校と李學相** 李學部大臣は去る十八日大邱恩賜館に同郡守及大韓協會員數十名の發起に係る歡迎會に出席々上大韓協會員の學相歡迎の辭あり終りに附言して曰く當地の私立學校は概して維持困難なるを以て希くは補助金の下付等に盡力ありたし云々終りて李學相起立して盛大なる歡迎の厚意を謝し且つ曰く日本人の經營しつゝある幾多の小學校は政府より何等の補助を受けず平隱に維持し居るにあらずや國費多事の今日遺憾ながら諸君の希望を容るゝ能はず各自は相當の方法を講じ發展を期せられん事をと

●**居所不明の欠逋金** 目下韓人間の一大問題となり施政反抗の具に供されんとしつゝある彼の未勘金は徵收上自然不成績を免れざるが二十五日官報度支部告示第五號によれば目下居所不明の缺逋者は四十二名にして口數六十七と算せられ其總計金額は七萬七千六百八十三圓八十八錢四厘を示めせり右缺逋者の前官は何れも郡守にして浴食せる稅目は結戶火錢に屬せり斯かる有樣なれば折角度支部が發見して鬼首を奪へるが如く狂喜し以て一大財源に供せんとしたるも越裡計畫に了はらん事今より看取するに難からず

●**南北韓民心の一斑** 近時各地方に於ける日本觀光團員の談を綜合比較するに南韓地方は概して日本文物制度の進步を稱讚し其の大いに學ぶべきものあるを鄕黨に說示しつゝあるも西北韓に至りては觀光中は一事一物を見聞する每に感歎の聲を發し居ながら歸鄕後は其の見聞を有りの儘に鄕黨に傳へんか彼は日本化せりと誹謗せらるゝを慮り却つて反對の事實を語りつゝあるを以て南西韓に於ける民心の一班を窺ふに足る

社會小言

▲大韓醫院長菊池、其娘の聟曾禰荒助に附添ひ東上して歸らざること半年、相變らず片瀨に在つて病統監の床側に侍す、今や韓人は彼を目するに月給泥棒を以てし邦人は彼を呼ぶに曠職者を以てするに至る、彼が有する統監府衞生事務囑托の空名の如き以て人口を閉すに足らず。

▲醫者か醫者に非ず、政治家か政治家に非ず、只花柳病に就て一グレン程の智識を有する山根正治今や韓政府の衞生顧問なりと稱して漢城の醫界を蹂躪せんと企つ、山根楽と曾禰の子分、曾禰にして退かんか糸の切れたる凧同樣となるべし、京城の醫者は自衞の爲に此機に於て彼を追ふを要す。

▲有名無實を以て名高き我商業會議所は將さに近きに於て議員の半數改選を行ふべしと云ふ、議員の改選や會議所定款の許すところ余輩に於て異議なし、只如何なる人物を選出すべきやに就いては意見なくんばあらず

▲由來會議所をして今日の如く下落せしめたるは罪議員にあり、議員にして價値なくんば奚んぞ會議所に價値あらんや今は廓淸の時なり、今は革新の機なり。

●**慶南道路改修工事** 慶南龍南郡より固城郡に通ずる道路は二万五千圓の豫算を以て同道にて改修する事となり本年度は一萬二千圓を支出し外に韓人より八百餘圓を寄附申し出でたれば之れにて起工し來年度には完成せしむべき筈なり尙ほ夫役も所在地人民より寄附申し出でたりと云ふ

●**埋沒せる銃器發見** 漣川分遣所の憲兵上等兵及び補助員三名より成る搜索隊は去る二十二日平山郡細下面廣坪の高地に於て暴徒の隱匿したる銃二挺を發見して押收したり

●**江界警察署落成式** 新築中なりし江界警察署は此程落成したるを以て來月十日其式を擧ぐる筈

●**開通式の參列者** 平壤水道開通式に就き內部よりは朴內相、山根囑托、佐野技師等列席の豫定なりと云ふ

●**辭令** 左の通り辭令ありたり
陸軍憲兵中尉 谷川貞次郞
憲兵隊本部附を免じ大邱憲兵分隊慶州管區長を命す
陸軍憲兵中尉 畑原延太郞
鏡城憲兵分隊淸津管區長を免じ憲兵隊本部附を命す
陸軍憲兵中尉 伊東顯濟
鏡城憲兵分隊淸津管區長を命す

兩民團の合併案

既報の如く三浦理事官は二十五日午後八時より京龍の兩民長及び兩議員を京城ホテルに招きて京龍民團合併に關し凝議する由なるが合併に對する理事官の腹案は大要左の如くなりと

一、龍山民團を廢して京城民團に併合すること
一、本年度の民團歲出入豫算は其儘踏襲すること
一、現在の兩民團議員は來る十月七日を以て總改選をなすこと
一、合併するに付ては兩民團共何等の條件を提出せざること
一、新事業計畫並に民團債發行等合は併後に於て凝議決定すること

更らに反對側の意見を聞くに彼等と雖も絕對に反對するにあらず即ち左の條件を容れらるゝに於ては合併に贊成すべしと云ふにあり

一、民團立高等女學校を統監府立となすこと
一、京城龍山間の幹線道路を統監府又は內部の所管となすこと
一、龍山の市街に接する軍用地並に韓國所有地を民團有に移すこと
一、龍山河岸の防波堤を韓政府より速かに築造すること
一、民團法施行細則を改正すること

東拓金融部の今後

東拓會社金融部は時勢の要求に促がされ融通資金の增額と共に放資先の擴張を決定し目下滯京中の宇佐川總裁は之が準備の爲め當局者と交涉中にあり而して其資金の調達を何れの方面に求むべきかは今尙ほ決定せざる由なるが同社現年度豫算によれば貸付金利子收入を五萬四千二百四十圓計上しあり今之を基礎として該部の計畫を窺ふに略ぼ其方針を推知し得べし推測の便宜上同社の公表せる四十二年度決算結果に徵するに定期貸付金總額は二十二萬一千九百圓にして之に依り收入せる利子は七千百二十九圓を示めせり而して同社の貸付金利率は八分乃至一割二分を標準とするも貸借の關係十數口に別かれ又其期間に長短あれば自然標準の利子收入を得ざるは素より其處なりとす唯だ該貸付總額を以て實收利子の割合を探算する時は平均三分二厘一二五強に當る故に現年度に於ける貸付收入も此假定率を以て計算すれば大差なかるべし則ち豫算收入の五萬四千二百四十圓を獲んとするには百七十四萬二千七百八十一圓余を貸付くるの必要ありとす然るに資金調達の計畫は今尙は五里霧中の觀ありて其成立の期計り知る能はずと言へば斯かる巨額の融通を現年度中に實行し得べきや否やは頗る疑問なり若し果して然らば第三期損益勘定に夫れ丈け齟齬を來し隨て其根底を動搖せしめ遂に畫餠の豫算に歸着すべし故に同社金融部が時勢の要求を充たし所期の目的を達するや否やは今後の施設にあれば大に刮目を要すべしと(電通)

●**衞生組長の聯合會** 京城衞生組長聯合會は既報の如く非常の暗鬪を極め居りしが種々旋斡を試むるものありて漸く圓滿に落着し二十四日午後七時より商業會議所に總會を開催せり其の結果會則を審議決定し左の如く役員を撰出せる由
副會長釘本藤次郞、幹事畑彌右衛門、大橋清三郞、小林藤右衛門、白木爲次郞、高木儀三郞
尙ほ會長は當分缺員とし評議員は副會長及幹事に人撰を一任し各町より二十名を撰出する筈なり

●**民團合併後議員數** 京龍合併問題は贊成者一二の多數によりて決定を見ん形勢なるが合併決定後に於ける議員定數に就ては現民團法は二十四名を最限とせるも當地は人口其の他一般の狀況他民團と異なるものあるを以て特例を設け三十名を撰出し得べき樣規定せんとの內議ある由なり

●**韓人市場開設問題** 仁川韓人市場開設問題は曩に其筋より認可を得着々實行の準備中己ひなき理由の爲め行惱みとなりたるが今回韓人側商業會議所の手にて斡旋の上近く開設の運びに至らしむべしとなり

●**墺國皇族の退京期** 墺國皇族オルレアン殿下は二十七日午前九時十分南大門發別項ムンム大使一行と共に京義線安奉線を經て旅順大連に赴かるゝ由尙ほ殿下は滿洲觀光の後北京に行かるべし

●**獨逸大使の出發期** 二十四日夜入京したる駐日獨逸大使ムンム男及び隨行員「ドクトル、メヒレンブルヒ」外從者二名は二十七日朝南大門發義州を經て奉天に向ふべしと

●**石塚長官貴賓招待** 廿六日オルレアン殿下を統監邸に招待し午餐會を催し又同日午后七時半より翔翠樓にムンム大使一行を招待する筈

●**朴泳孝の上海行き** 馬山に靜養中の朴泳孝は來月上旬木浦を經て入京しそれより上海に向け出發する筈にて目下其の準備中なりと

●**李學相の西韓視察** 目下南韓地方學事視察の途にある學部大臣李容植氏は廿七日歸京の豫定なるが更に西韓方面の視察に赴くべき筈なり

●**獨大使北漢山登り** ムンム大使は二十六日ランゲ大佐クルーゲル總領事を隨へ北漢山に登る由

●**佛國建築技師入京** 佛國建築技師ロメスタル夫妻此の程入京二十六日昌德宮秘苑等を拜觀の筈

●**商業會議所役員會** 二十五日午後七時より取引所問題に關する商業會議所役員會を開催したり

●**武田少將の平壤行** 農商工部平壤鑛業所長武田海軍機關少將は二十五日午前當地出發赴任したり

●**和田博士の出張** 理學博士和田維四郞氏は二十四日出發平壤に向ひたり

●**向井巖氏の入京** 平壤控訴院檢事長の同氏は廿四日入京天眞樓に投宿

●**三井久陽氏入京** 平壤監獄典獄の同氏は二十四日入京三日月旅館に投宿

●**森井國雄氏入京** 淸國道臺顧問の同氏は二十四日入京し浦尾旅館に投宿

龍山通信(廿五日支局發)

軍司令部獸醫部長加藤二等獸醫正は來月二日より約一箇月間南韓へ出張▲軍司令部にては副官中村砲兵大尉を遣し二十三日着京せられたる墺國皇族を南大門驛に迎へしめたり▲昨紙所報の如く京龍合併問題に對する龍山調査委員五名は二十四日午后四時より龍山民團役所に於て協議會を開きしが海津民會議長も特に參會して意見を述ぶる處あり結局兩民團の合併は兩地の情勢之れを爾らしむるものなるを以て些々たる利害得失の爲めに其可否を思議すべきに非らず故に此際何等條件を提出せずして合併の遂行を圖るべしといふことに意見一致したりといふ▲二十五日午後三時より龍山民會開會四十三年度追加豫算案(囑托獸醫手當の件)を議し後協議會を開き前記京龍合併問題調査委員の報告を以て協議會の議に附せしが各議員は右協議會の決議を諒らして京城ホテルの協議會に出席せし筈なり

寄書

京龍合併問題(續)

田村義次郞

抑も合併は撰擇的問題にして之を決行すると否とは利害損益を比較研究したる後に於て其結果に依り之を決すべきものにして捨てたる場合には現狀維持に於て何等の損する所なきなり是を邦國に譬ふるに他國の領土を併呑するか又は他の邦國と連合して新に一大國を形成するが如きものなり今茲に一の國有りて夫れ自身獨立其國を維持し來りて何等の支障なきに他邦より合併を申込み來りたりとせんに是れ該國に取りては一大問題たるに相違なきも一度合併に應ぜずと決せば其問題は忽然雲散霧消し其國の現狀に何等の影響なかるべし然れども是れが合併を實行せんとせば其邦國の未來に關し種々なる大問題を惹起し必ず政事家學者の腦漿を苦惱せしむべし故に合併すべしと主張するものは其必要と其利益とを調査し合併に關し疑懼の念を抱く者をして其疑團を解くに足るべき調査報告を爲すは主張者の義務なり何んとなれば合併せざれば現狀維持となり何等の憂慮なければなり予は議員諸君に向て調査研究の甚だ至らざる所あるを遺憾とすると同時に納稅者たる予等居留民は議員諸君の說く所に信頼し以て我等の頭上に巨大の利害を及ぼすべき問題を速かに解決するの勇氣なきことを自白する也

▲治外法權▼

曾禰の亡魂立消と相成り、新任統監副統監の發表が愈切迫したと云ふので今更の樣にドギマギ騷ぎ出した連中が幾らもある、記者は此連中の虫の好さと阿呆さとに對して一寸氣の毒の感じもする、サリとて土俵際になつて泣いたつて笑つたつて仕方がないではないか▲今の韓國は面積こそ廣けれ、人口こそ多けれ北海道と何の變りもない、此北海道と變らぬ韓半島を治むる行政廳は矢張り北海道廳と同樣なものだ、故に記者は統監府をイツも北海道廳の少し大きなものと見て居る▲邪がコー判つて見ると統監府に長たるものは寺內でも山縣でも誰でも構はない、要は半島の經濟的施設を忠實にやるものであればソレで良いのだ、尤も寺內でも山縣でも日韓人を擧げて日干にするようだつたら直ぐに追ひ出すのみの事だ▲ガヤガヤ騷ぐ連中曰く然らば合邦問題はドウするかと、マー御念には及ばぬ、今後本問題の解決は統監本位ぢやない、時が來れば桂がやる、田が色附けば鎌がは入る、軍隊と移住民さへシッカリして居れば統監の手腕など問ふを要せぬ▲民團役所に大分閥があるそうだが之は苦々しい事だ、此間も一寸本欄で書いたが此移住地へ來て大分だの福岡だのと云つて居るのは大間違だ、古城民長は兎に角和田議長などは思慮も分別もあること故所謂大分閥を打破することに勉むべしだ▲飛行機の發明に後れをとつた我國も南極探檢には先鞭を附けるらしい、聞く近々某非役軍人は大隈伯と澁澤男との助けにより三百噸の船と遠征費用一切とを得南極に向つて出發するソウだ。

名妓洗髮の連妻（六）

▽感心な靜岡の女房さん ▽靜岡の出稼が縁の切目

話は前に戻るのですが、國藏さんと切れてからでした、言はゞ壯士役者といふものを買つて見たくなつたといふのでしたらうか、川上音二郎さんを小當つて當つて見やうと思つて見ると、川上さんの方が夜は葭町で貞奴さんが出來た處で、此方を向きさうにも無い[illegible]手から川上さんを奪ひ取らうと企て[illegible]を初めましたが、到頭駄目、貞奴さんの力の方が川上さんにや強かつた、斯うなれば半自棄でさ、直ぐ同じ新派の中で、其の靜岡小芝郎に目星を附けてゐると、川上さんは洋行して、殘つた人達は藤澤さんが一座を拵へてゐましたので、靜岡を其一座に入れて貰ひ、ウンと引〆た[illegible]宮戸座へ[illegible]

靜岡の女房さんでしたね▲私が只もう〳〵感心して了つたのは[illegible]

車で花の家から白木へ[illegible]

樂屋入[illegible]

亭主が浮氣[illegible]

[illegible]なりましたので、新橋までは花の

家から一同が發つて行つた其れ限り靜岡とは縁切れといふ始末、新橋へ行くまでは本氣で男の爲めに私は騷ぎに騷ぎ、燥いでゐたのでしたが、發つて了ふと忘れたやうな宅の箱屋などに忘れやうが餘りに早いといふので笑はれました、此が私の氣性ですね、自分にも分りませんわ。

お客に欺されてる紫郎

▽新町の掘井戸に蓋をしろ

[illegible]て果敢なき世の習ひ[illegible]少々哀れつぽく聞[illegible]祇釋教戀無情は禁[illegible]猶は此の哀れある一樣の紫郎と申す[illegible]が酒機嫌にて身受けたのを眞に受けホ[illegible]ないねッコラテケ[illegible]上つて喜んだ以來毎日かと毎日少しづ〳〵て背戸の畠で茄瓜の蔓棚に成り今や[illegible]卷きをせんかと怪[illegible]が一方〇山さんは其[illegible]る朝顔を洗つたので[illegible]に女房持ちが女郎買[illegible]飛んだ佛氣を出し不[illegible]に嘸々本町へ回つて[illegible]がつて居た夏帶を買[illegible]た詫をした程である[illegible]しとは元來れ人の好[illegible]ひ出したに仕た所で[illegible]山さんは何うして居[illegible]んに辻占をメクッて[illegible]る奴も「月夜に釜」と[illegible]とか「雷に臍」とか[illegible]と云ふの計りなのに[illegible]堀井戸を覗き込んで[illegible]臭くなつた息をフー[illegible]降りに出つ會した壁[illegible]て居ると云ふが此の[illegible]樣な短氣を起しちや[illegible]大く持に限ると知べし

隱亡の候補者

▽中々振つた履歷書

[illegible]隱亡なる日田鑑次及袖[illegible]仁川裁判所支部に於て[illegible]公判を開廷せらるべき[illegible]者なる東本願寺別院に[illegible]募集したるに忽ちにし[illegible]に及びたり其筋に於て[illegible]を有する者あり即ち原[illegible]者の身元を調べしに頗[illegible]夷子町士族當時仁川龍[illegible]店岡田爲政（五三）の如き[illegible]履歷の卓絶せるものに[illegible]

して曾つて同人は松山小學校に教鞭を執り後轉して同縣上浮穴郡中津村の村役場に勤め更に松山監獄看守を拜命傍ら酒造業に從事して見事失敗し當仁川に飛んで來りて淫賣屋を營めるものなるが世は樣々とこそ云ふべけれ

韓人の白銅偽造

▽筆洞分遣所に捕はる

中部張大洞五十三統七戸米穀商任尚俊は白銅貨を偽造し愚民を欺き金員を詐取すべく畢生々々なりし由なるが本年二月頃も京畿道豐德郡盤浦李圭錫尹某の二名を詐き白銅貨偽造の資本と稱し金二十圓を詐取したる事筆洞分遣所の探知する處となり二十四日逮捕せられ同所に於て目下嚴重に取調中

大詐欺師の控訴棄却

▽盜人威けく〳〵しい

福岡縣人當時明治町三丁目無職卜部健次郎は約束手形證を偽造し之を行使し金員を騙取せんと企て本年三月十二日自宅に於て擅に同日振出三月三十一日支拂の旭町池尚郎振出の中村健吉宛額面金三百圓の約束手形證を作成し之を二月十三日本町二丁目中村健吉より虚無人たる益永健次郎宛裏書を記入し尚は二月十四日新橋通り二番戸にて益永健次郎が裏書を爲したる如く虚偽の記入を爲し池尚郎及益永健次郎には有合せの印を押捺し中村健吉名下には明治町印判師最上順次に情を知らせずして依賴し彫刻せしめたる健吉の偽印を押捺し知人堺和吉を介して若草町原川萩次郎に右手形を交附し金三百圓を騙取せんとせしに原川は裏書の眞否を問合せたるに偽造なる事發覺し騙取の目的を遂げず又壽町野田鶴吉が中部墨洞に四十余坪の宅地及二十八坪餘の木造二階家屋を所有し居るも未登記なる事を利用し野田の私印を偽造し民團役所に虚偽の屆出を爲し印鑑證明を受け其の情を知らざる鍾路通り代書人安藤和一郎に野田より依賴を受けしと稱し前記宅地並に建物を抵當に金員借用方依賴し安藤は之を信じ御成町小林寅好より金二百五十圓借用方周旋を爲し前記宅地及建物を偽造印を以て野田の委任狀を作製京城區裁判所へ所有權保存並に抵當權設定の登記を了し金二百五十圓を騙取したる事件は爾來私印私公文書偽造行使詐欺取財として京城地方裁判所に於て懲役二ヶ年六月に處せられ控訴中の處二十四日控訴院に於て同二年六月に處せられ控訴は棄却せらる

初音町の强盜

▽三百圓余を强奪す

二十四日午後七時より八時迄の間に於て初音町八木吉彦宅に日本人一名韓人二名の强盜侵入し三百余圓を强奪何處へか逃走せしより其の筋にては非常線を張り犯人捜索中なりしが再び夜中に來りしに付追跡せしも奬忠壇附近にて行衞を見失ひたりと

●仁川雜事 仁川民團吏員は今廿六日午後七時より倶樂部にて茶話會を開催の筈なるが之より毎月一回宛開催する由▲仁川防火用貯水池は市內の樞要場所を選定し三箇所に設置せるが斯くても尚は不足を感ずるより今回濱町海岸に一個の貯水池を增設するに決したりと▲仁川善說會は來る廿八日午後三時より仁川ホテルにて例會開催

女振り

京城印刷所主 宗像いつ女

いつ女は山口縣吉敷郡山口町の產で昨年五六月頃良人傳吉君に死別れたのである、夫れ迄の御職業も現時同樣印刷業で縣廳の御用印刷所であつたのだが前に云つた傳吉君が死亡せられたので同所を引き拂つてハレー彗星の出現に先立つこと約半歲の昨年八月頃京城に其の英才靈腕の光芒を放つことになつたのである、とは浮世を忍ぶ黑頭巾取つて除ければ天下を望む大友の黑主ならぬ京城日報社長大岡力君の慫慂に基き或る種の保證の許に傳吉君の遺兒成一郎德三郎の兩者を伴ふて入城開業せられたのだ、然れば新規開業とは云ふもの〻或る程度迄の基礎は確立せられて居つたものと見ることも出來る、いつ女は此の基礎の上に成功すべく努力した、實際勤勉力行は彼の女の天質である、開業後日も淺いことであるから今遽かに百年の後を斷ずることは出來ぬが既に成功の曙光は閃いて居る、然るに天祐は更らに同女の上に宿つた、夫れは大岡君以外有力なる特別關係ある後援者が現はれたことである、爲めに聊か大岡君の怒に觸れたのは事實だが決して算盤玉の上に損はないのである、其の後援者とは是れも何をか匿さう釜山水產組合長の岡十郎君である、縱令多少の基礎はあつたにせよ、有力な後援者があるにせよ、女の細腕で七十人からの社員職工を董督指揮して行く手腕は敬服推重に値する、明治五年六月四日の出生。

●迷子の迷子の犬 ヤーイさと一生懸命探して居るのは壽町一丁目の大坂朝日新聞特派員山本氏にして同犬は本年三月頃出生のポインター種白に茶の斑點あり顏は茶にて鼻尖が一寸白い小犬れ見當り御通知下されば相當謝禮を呈すべしと

桃川若燕を聽く

▽少女の筑前琵琶も呼物

既報の如く桃川若燕一座は廿四日より歌舞伎座に於て開演した、記者の覗いた時は既に燕樂の忠孝美談と鐵味一丸の出語りが濟んで若燕の出世車が初まる處であつた、出世車は人情話しで持前の巻舌で得意の啖呵に滑稽を加味し聽者をして不堪拍手せしめた、次に現はれたのは當年十八歲の少女源春子の筑前琵琶『那須與市の扇の的』である、先づ其初々しきスタイルが甚敷く可憐に見へて聽者の同情を買ふ、小さな口から隨分高い調子でやり出したから稍や氣遣つたが其れも畢竟杞憂に過ぎない、玉を轉ばすが如き美音は朗々として逆へ節廻しも中々器用で流石は斯界の名門に生れた程あると三嘆せしめた、われで今一層聲調が大きくなつたら大した者である、次は若燕の義士傳勝田新左衞門の傳で娘花節でやると大竹重兵衞の朝風呂と云ふのである、義士傳は呼物として居る軍事談よりも同人の爲めには得意の業で之で若燕の眞價を發揮して居る、悲哀に裡に時々滑稽を交へ聽者を魅する處甘いものだ、次は再び春子の琵琶があつて最後に若燕は軍服に着替へて乃木大將の逸話を演じた、尤も軍事談とて戰爭の光景はあまり語らず各將軍の裡面を逃ぶる事に努めて居るらしい、武人の典型とも言はる〻乃木將軍の逸話であるから言ふ事總べて教訓的である、それに軍隊的用語は同人が軍人であつたゞけ眞を穿つて居て面白い流石は御前講談師として首肯せしめた（一記者）

壽座の素人演劇

▲本町靑木堂の自祝 ▲登場俳優は紳士連

鎌て噂のありし泥峴紳商連の素人演劇は一時中止の姿となり居りしが今回本町一丁目靑木堂にて開業三箇年の自祝として演劇を催す事となり就ては前記素人劇團は同店の發展を祝する爲め進んで應援することゝなり茲に評議一決して一反中止となりし素人劇は再び復活することゝなりたり▲場所と日時 場所は壽町壽座開演は來る二十九日三十日の兩日にして毎日午後六時より開場の筈而して觀覽者は同店の案内狀を所持する者に限る尤も同店にては大方得意先きへ案內狀を差出したるも自然發送漏れもあれば不着の向は遠慮なく同店に申込むべしと

目と耳

▲藝題の數々 出し物は兩日共同一にして種目は史劇鳩門曾我、野村三千三納富、五八男勢揃へ及び喜劇玉手箱等にして登場俳優は當埓の紳士、金線眼鏡の若主人其外錚々とチャント物かつては居れど藝の明く迄は言はぬが花、而して何れも昨今夜の目も忘れて稽古に熱中し居れりと

▲歌舞伎座 蓋明け早々大入大入氣の桃川若燕一座の二十六日（三日目）の演し物左の如し 力士稻川（燕樂）曲藝數番（一丸）赤垣源藏、太田道灌（源春子）赤穗義士中山安兵衞、植樹山白襷隊大行動（桃川若燕）大切餘興火鍛の曲藝（一丸）

▲壽座 廿六日の替り狂言は前「鬼一法眼大藏卿一代記」切「明からす雪責の段」にして役割左の如し 大藏長成卿（既若）常盤御前、浦里（正三郎）女房れ京、時次郎（內匠之助）八劍勘解由（三之助）吉岡鬼次郎（竹三郎）妻なるせ（臨次）大江廣盛、亭主（九十郎）やりてのれかや（大舍）

▲龍山座 當地歌舞伎座打揚後同座に乘り込みたる木村猛夫一座廿六日の替り狂言は「不如歸」にして重なる役割左の如し 片岡浪子（野村）加藤靜子（白石）山木豐子（石井）加藤千鶴子（澤井）乳母いく（福澤）片岡中將（寺田）千々岩安彥（內田）山木兵造（富士井）家扶田先（渡邊）書生（河尾）未亡人（桃井）川島武男（木村）

▲大韓電氣館 京都横田商會活動寫眞部にては今晚中部東口內元團成社跡を修築し常設活動寫眞館とし廿五日午後七時より開館毎夜引續き興行する由にて映畫は「故伊藤公國葬光景」外左の如し 天下泰平、手柄之酒、厄介なる鷲鳥、軍艦の進水式、力持の失敗、日本住吉祭、大惡戯、婚禮の贈物、乳母のストライキ、新比翼塚、少年立志美談、腐敗せる世の中、破天荒ノラブ、西班牙の牛鬪、餘興として韓國人演藝數番

今日の運勢

●五月廿六日舊四月十七日●白友引辛卯鬪△一白 旅行舟出を禁じ盜害横領防ぐべし新事及變更の事見合たるべし△二黑 排擯軋轢競爭ある日意を用ふべし新事談判依賴婚姻養子の事見合すべし△三碧 整理改革及紛議解決に吉新事は見合せ失費散財防ぐべし△四綠 顯進榮祿の日婚姻入學門相談契約に好し不和中絕を戒しむ△五黃 不如意の日新事見合せの事紛亂盜害を戒しむ△六白 意思の衝突不利を避くべし其他靖寧の日△七赤 病術生上に留意すべし其他は會心の日なり△八白 我意强くして失敗あり尙盜害水損防ぐべし△九紫 不振の日新事見合せの事農林の業には適す（本町五丁目三二館判斷）

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

開業御披露
和洋御料理
本月十五日より開業仕候
仲居及料理人其他器具類一切神戸より輸入し御待遇親切設備高尚にして頗る美味なる御料理を以て勉強致候間陸續御來遊之程奉希望候敬白
京城旭町三丁目
神戸 富田家支店

藝妓置屋開業
料理店待合其他素人様方の御席へも參じますから御贔負に願ひます
いろは順
舞子
市子 市松 太郎 仲子 松吉 愛次 光子 光
明治町
中屋席
電話一四八一番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

支店出張所共通賣出し
五月廿四日より
五月卅日迄僅か七日間限り
夏物大賣出し
流行ゆかた地 本場久留米絣 反貳圓五拾錢より
珍柄モス友仙色々 其他洋反太物類
特約品關戸かや各種 外に縫目なしかや各種
弊店製造品やま九夏たび 麻ふさん地
其他麻もの類わたるい一切
正札より五歩引▲尺賣物は歩引の外
「入尺」澤山▼……ワタは歩引なし
御買上如何に不拘御遊覽願上候
京城本町壹丁目憲兵隊前
商店
電話四八三番
京城本町五丁目壽座入口角
出張店

夏物大賣出し廣告
かや 太物 浴衣地 蒲團地
わた 洋反物 久留米絣
見切反物並につり切類其外いろく
賣出期間
五月二十四日より三十一日まで
正價より五分引
行く春の宮は緑にかくれて白妙の衣ほすてふ夏は來り江湖各位それぞれの御支度遊ばされ候に就ては今回新着の新柄珍柄流行品取揃へ此の好機を期し平素の御厚志に酬ゆる爲め前記の大割引を以て貴需に應し各位の御便利相圖り度微意を諒せられ續々御來店之程伏て奉悃願候 謹言
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
京城明治町壹丁目
唐川立造商店
電話二六一番

胃腸新薬
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目(電話八五〇番)
竹田津三平

大上商店
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬大賣出し
(電話二五一番)

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

明治廿年七月創立
京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
東京火災 海上運送 保險株式會社
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスフアルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
京東博文館發行書籍特約店
京東金港堂發行書籍特約
山口盛 …發會社…特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京十番地 京橋電新橋 南三 鍋町一九六 一丁目二

開業
代書仲介
今般小川法律事務所ヲ辭シ左記ノ處ニ事務所ヲ設ケ普ク代書仲介ノ御依頼ニ應シ可申候
京城本町一丁目理髪館前(旅館隣)
林久米藏信託事務所
事務員 寺井弘
(電話六七三番)

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番

夏物聯合大賣出し

自五月二十四日
至五月三十日

呉服商組合(いろは順)
林呉服店 電話六百五十二番
山枝呉服店 電話二百二十四番
山口呉服店 電話九番
圓城呉服店 電話百五十七番
恵阪呉服店 電話七百二十六番
末永呉服店 電話六百八十二番

現金ニ限リ聊添物進呈
見切反物寄切種々
(但シ添物ナシ)